

## しみず有機の甜菜に対する施用試験

1 目的 甜菜に対する「しみず有機」の施用効果について検討する

2 設置場所 清水町松沢、常盤 現地

### 3 耕種概要

地区	土壌	栽培方法	品種	前作	前年堆肥	移植日	播種日	畝幅cm	株間cm
松沢	火山性土	移植	ラテール	小麦	5t/10a	5月2日		66	21
常盤	低地土	直播	パピリカ	小麦	なし		4月21日	66	16

### 4 試験方法

(1) 試験規模 1区 30a 反復なし

(2) 試験設計 慣行栽培区にしみず有機 100kg/10a 施用、200kg/10a施用を追加した区を設けた。  
それに伴う減肥は行っていない。

松沢 移植 ラテール	慣行区	慣行区						
		肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
		BS007	125	12.5	25.0	8.8		2.5
		チリ硝石	20	3.1				
		合計	15.6	25.0	8.8	0.0	2.5	
	100kg区	慣行区+しみず有機100kg/10a						
		肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
		しみず有機	100	0.6	4.0	2.4	10.4	1.4
		合計	16.2	29.0	11.2	10.4	3.9	
	200kg区	慣行区+しみず有機200kg/10a						
肥料名		施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土	
しみず有機		200	1.1	8.0	4.8	20.8	2.7	
合計		16.8	33.0	13.6	20.8	5.2		
常盤 直播 パピリカ	慣行区	慣行区						
		肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
		UF605	120	19.2	24.0	6.0		3.6
		合計	19.2	24.0	6.0	0.0	3.6	
	100kg区	慣行区+しみず有機100kg/10a						
		肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
		しみず有機	100	0.6	4.0	2.4	10.4	1.4
		合計	19.8	28.0	8.4	10.4	5.0	
	200kg区	慣行区+しみず有機200kg/10a						
		肥料名	施用量	窒素	リン酸	カリ	石灰	苦土
しみず有機		200	1.1	8.0	4.8	20.8	2.7	
	合計	20.3	32.0	10.8	20.8	6.3		

注1)しみず有機の肥効率は、窒素 35%、リン酸及びカリを100%とした。

注2)しみず有機は4月に整地前にプロキヤスで全層散布を行った。

### 5/30 松沢 移植



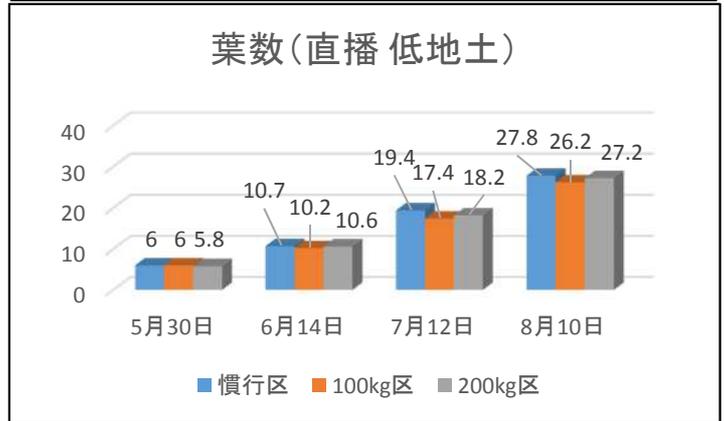
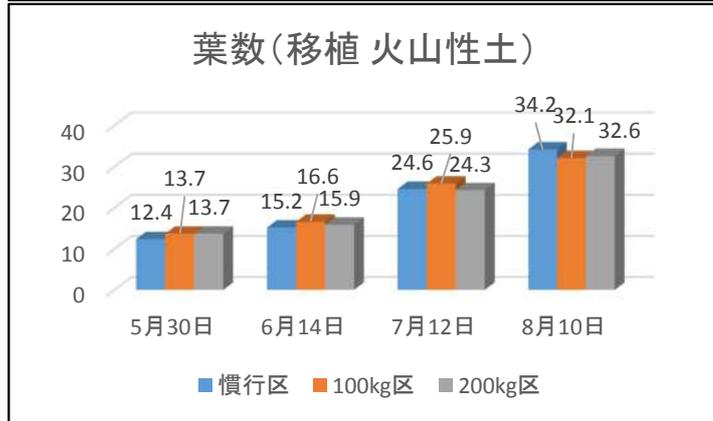
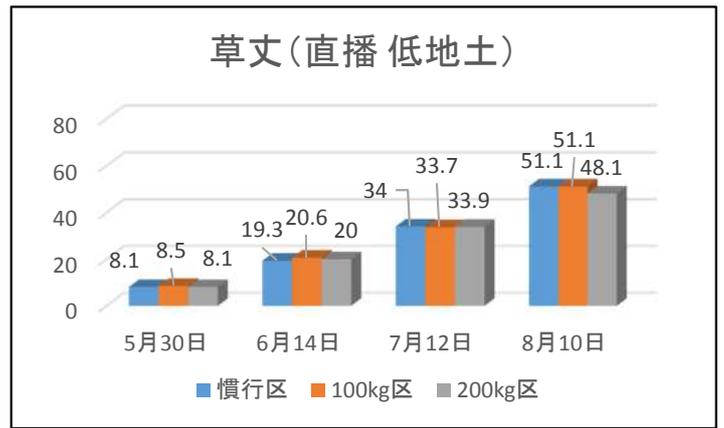
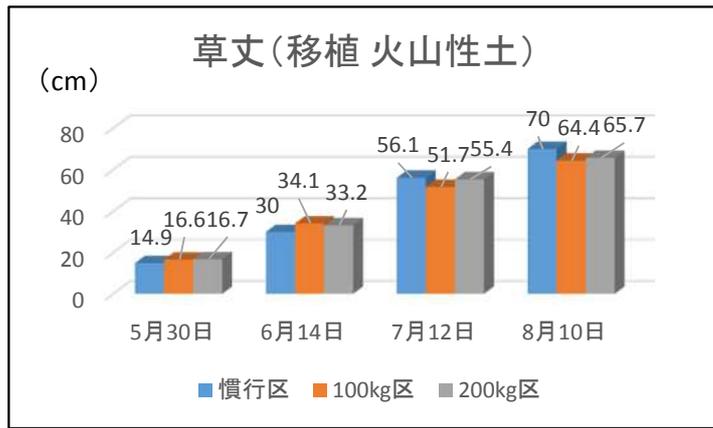
左：100kg区 右：200kg区



左：200kg区 右：慣行区

## 5 試験結果

### (1) 生育調査結果



6/14 松沢 移植



左：しみず有機+200kg区 右：慣行区

6/14 常盤 直播



左：慣行区 右：しみず有機+100kg区

7/12 常盤 直播 慣行区



7/12 常盤 直播 100kg区



(2) 収量結果

10/3 松沢 移植 慣行区



100kg区



200kg区



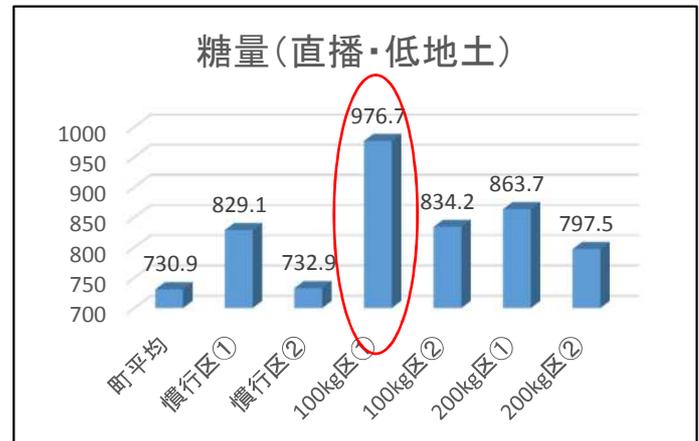
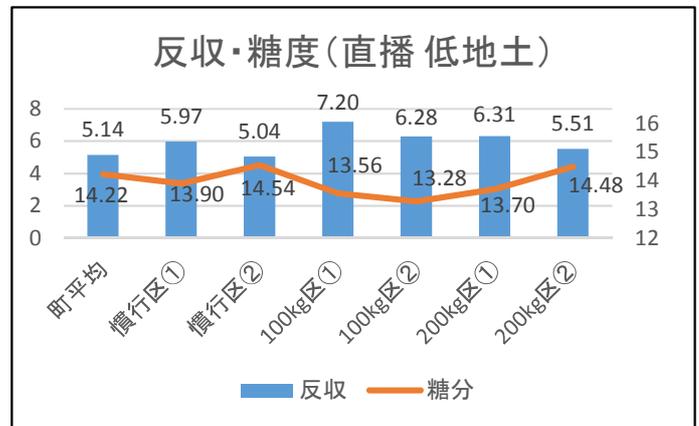
10/3 常盤 直播 慣行区



100kg区



200kg区



6 考察

移植、直播共に初期生育はしみず有機を施用した区の方が良好であった。長雨、台風の影響により、特に低地土の圃場は湿害の被害が大きかったため、順調な生育結果であったとは言えないが、どちらの試験区画においても糖量の最大値がしみず有機100kg施用区にある結果となった。移植の糖度の結果から、小麦後に堆肥を 5t/10a施用して、しみず有機を200kg/10a 施用すると糖度が下がることが示唆された。上記の結果と経済性、作業性から、甜菜へのしみず有機の施用は100kg/10aが妥当と考えられた。10月3日時点での掘り取り調査であったため、最終的な糖度が確認できれば尚良かった。